

保険業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	12~13	営業活動で雪上歩行中、訪問先宅前で滑って転倒し、果骨挫傷となり、治療のために約1ヶ月休業することとなった。	47	30~49
1	11~12	訪問先顧客の敷地内に車を駐車し、庭先の方から玄関先へ向かって歩いていた際、少しの段差に足をとられて、左足をひねる形で左膝から地面に着く形で転倒し、左膝を強打し骨折した。	68	30~49
1	13~14	お客様宅の駐車場から訪問する為に勝手口に歩いていった際に段差で転倒した。	46	—
2	15~16	外回りの仕事を終え帰社途中地下鉄の駅から出て会社へ向かっている際、路上で何かに躓き2、3歩前のめりになって、耐えたが耐え切れず左手をつき右膝を打って転んだため骨折した。	64	1~9
3	13~14	お客様宅を退出しようとして玄関を2~3歩歩いたところ、庭に埋めてあった枕木で滑り右横に転倒し、右肩を骨折した。	64	50~99
3	11~12	所属営業部入居ビル廊下を給湯室の方へ歩いていたところ、水がこぼれており、そこをサンダルで歩いたため滑って転倒した。	63	300~499
3	8~9	通勤のため、朝、自宅玄関を出てスロープと道路の境目の所で靴が引っかかり、つまずいて転倒し骨折した。	50	100~299

4	8~9	営業所内で出勤認証をするため慌てていて、左足を強く捻った。	70	300 ~ 499
5	13~ 14	オフィス施策の昼食会後に、約束のお客様宅を訪問するため店を出ようとした際、店内を歩行中、段差に気付かず躓き前のめりに転倒し、右足を捻り、両肘と両膝をつき、右足甲骨折、両膝・両肘の擦り傷を負った。	55	10 ~ 29
5	12~ 13	玄関を出たところ、段差があることに気付かず足を踏み外し転倒し骨折をした。	54	10 ~ 29
5	16~ 17	お客様宅訪問を終え、退出する際に玄関を出て門まで歩いていたら、5cm程の段差に気付かずに傾いてバランスを崩し、右足を挫いて後ろに転倒し、動けなくなった。その際、右足踝の下から指の付け根の間の靭帯損傷、両腕打ち身、吐き気を生じた。	57	500 ~ 999
6	10~ 11	オフィス内で自席からプリンタへ向かって歩行中、書類を取ろうと右手を伸ばしたところ、躓いてバランスを崩し、前のめりに転倒して両腕をつき、右手をプリンタに強打して右肩を骨折した。何に躓いたかは不明である。	68	30 ~ 49
6	15~ 16	担当地域である4軒の顧客宅を徒歩で訪問し、面談・挨拶状の投函等をして帰社する際、坂道を下りている時に左足を捻り、アキレス腱断裂、腰椎捻挫、左足関節捻挫、外傷性仙腸関節裂を受傷する。	30	300 ~ 499
6	20~ 21	お客様のお宅で保険手続きを終えて玄関を出た後、雨で濡れた玄関先で滑って転倒し、右手を地面につき負傷した。	62	10 ~ 29
7	12~13	午前中に支店担当者と同店取引先を訪問し保険商品の提案・説明した後、支店で修正案を打ち合わせ、次の訪問先へ社用車で向かう途中に昼食時間となり正午頃から昼食を摂り、午後からのアポイントに合わせて保険会社担当者と現地で待ち合わせのため、店を出て駐車場内を社用車まで歩いていた処、誤って車止めに右足を引っ掛け転倒し、アスファルト面で右肩を打ち受傷したもの。	59	10 ~ 29

7	10~11	保険募集活動中、車を降りて次のお客様を訪問するために道路を歩いていたところ、段差につまずき転倒。顔、左足等を打撲し左手首を骨折した。	64	100 ~ 299
7	14~15	油が付着した床で滑り、体勢を戻そうとした時に、踏みとどまったばかりに、足を捻挫。	38	50 ~ 99
7	19~20	お客さま宅へ訪問手続き後、お客さま自宅から3m位の坂道を下っている途中、セメントのボコボコしている路面につまずき、転倒し受傷した。	67	10 ~ 29
7	18~ 19	2階セミナールームから階段を下り、1階の事務所へ戻る途中、エントランスのエレベーターホールのカーペットに躓き、そばにあった建物安全度判定サポートシステムのモニターを支える台座の角に前頭部を強打し、救急搬送された。	60	500 ~ 999
7	16~ 17	担当機械に向かう途中の段差で右足を捻った。	24	10 ~ 29
9	8~9	廊下がぬれていたのに気づかず、すべって転倒。	60	1~ 9
9	14~ 15	営業所内において、自席で書類作成中、事務員電話対応中に店頭へお客さまの来店があり代わりに店頭へ出ようとした際、書類ラックに足が引っかかり転倒し、受傷した。後日、MRIをとり骨折が判明した。	58	10 ~ 29
9	16~ 17	お客様宅玄関前の段差につまずき転倒した。	69	1~ 9
9	15~ 16	お客様と待ち合わせの為、小走りで向かっていた所、店頭でつまずき転倒した。	59	10 ~ 29
10	8~9	事務所に入り2階にあがる際、玄関マットに足が引っかかり転倒した。当日は痛みが強くなかったが夜になり痛みが強くなったため、安静にして様子を見たが、痛み	66	30 ~

		がおさまらなかった。左大腿骨打撲傷、骨挫傷疑いの診断を受けた。		49
10	10～ 11	約束のお客様訪問に向かうため、外出しようとした際の事故。オフィス出入り口付近で同僚に声を掛けられたので立ち話をした後、ドアを閉めようとしたところ、出入り口にある20センチほどの段差で左足首を捻った。傷病部位は左足首の靭帯損傷。	60	300 ～ 499
10	12～ 13	駐車場内を急いで走って車まで戻ろうとしていたところ、靴が滑って足を捻り、転倒した。営業活動中、ショッピングセンター内にあるショップへ訪問営業を行い、終了後、車へ戻る途中の怪我。	27	10 ～ 29
10	13～ 14	勤務中の移動時、歩道にてつまずき、転倒した時に左手をつき、骨折した。	65	—
10	9～ 10	自宅からお客様のところに向かうため駅に向かって歩いていた時、前方からの歩行者を避けようとして小雨が降っていたこともありグレイチングの所で滑り転んで足を骨折した。	58	500 ～ 999
10	12～ 13	出入企業様の事務所出入口で急いでいて転倒、負傷した。	56	500 ～ 999
10	13～ 14	営業部の1Fの駐車場の出入口付近で転倒し、骨折。	58	500 ～ 999
11	9～ 10	事務センター内で、宅急便の当番の為、シャトルバックの荷物を各担当のCSへ配ろうとして、机を左に曲がった時に、下にあったダンボールの荷物に、足を躓き、右足の甲の骨を3本骨折した。シャトルバックの中の荷物を仕分けしている時に、業者が宅急便のダンボールを数個配っていたが、左を曲がってすぐ角に置いてあるのには気付かず、転んでしまった。	60	100 ～ 299
11	17～ 18	お客様宅に商品説明の為訪問中の事故である。お手洗いを借りようと玄関先を歩いていたところ、足元が暗くて30cm程の段差に気付かず踏み外し、右足を外側に捻って尻餅をついて後ろに転倒した。右足甲亀裂骨折、臀部痛み、両肘・腰・頭	57	30 ～ 49

		部の打撲となった。		
11	8~9	営業所内で出勤手続きをする際に、足を滑らせて転倒し受傷した。	67	30 ~ 49
12	15~16	会社に戻ろうとした時に、コンビニに寄ろうと思い、中に入ろうとした際に凍結した地面ですべり、転倒したときに左足を痛めた。	29	10 ~ 29
12	12~13	年末の挨拶をするため、お客様企業を訪問し、退出する際、敷地内の道路を小走りしていたところ、躓いて前のめりになり転倒し、右膝と左手首を地面に着き、左手首の骨折と右膝の擦り傷を負った。後日入院となった。	58	30 ~ 49
12	17~18	お客様と待ち合わせをしているショッピングモールの駐車場で転倒し、受傷した。	56	10 ~ 29
12	17~18	仕事帰りに、客先に賞品を届けようと支部を出て、自分の車に向かった直後、転倒し、左手首と右膝を骨折してしまった。	62	10 ~ 29
12	10~11	スーパーの駐車場にて代理店の方と面談後トイレに行く途中、履いていた靴がぬれていたため足を滑らせて転倒する。	55	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html